

スマホで地域限定クーポンアプリを楽しむ買い物客＝9日、浜松市東区の「メイリールー」



地域限定アプリ好調

県内外で25店舗を展開する婦人服の「ひらおか」（静岡市葵区）が昨夏に導入したスマートフォン用の地域限定クーポンアプリ。1年を経てダウンロード（登録）数が8700を超え、利用客と店員の会話を盛り上げるコミュニケーションツールとしての効果に加え、売り上げへの貢献も少しずつ見え始めた。

「当たった。500円」。浜松市東区のイオンモール浜松市野でひらおかが手掛ける「メイリールー」。夏物セール中の店内でアプリの釣りゲームに挑戦し、初めてクーポンを当てた女性客（19）が喜んだ。ゲームは3種類。1900円以上の商品購入時に利用できる「千円割引」クーポンなどが当たる。

寺田有里店長（31）は「お客さんが当たると、思わず一緒に喜んじゃう。アプリ利用者は店のリピーターになってくれる率が高い」と

増え売上げ 盛り上げ 会話 会話

話す。母娘や友達同士でアプリを楽しむ姿も見られるという。

インターネット通販が普及し、婦人服店も来店者や客単価の減少に悩む。同社の平岡正也社長（48）は「店で買ってもらうのが難しい今、会話を弾ませて店を気に入ってもらえない」とアプリ導入の理由を説明する。中心客層の20～40代にスマホが普及したこともきっかけだった。同社によると、7月はアプリ導入14店舗中9店で、クーポン利用者の平均客単価が店の平均を上回った。店平均3755円に対し、利用者5445円の店も。買上げ点数の増加傾向も出てきた。

クーポンアプリ「カワシズ」を開発したシーエムエー（浜松市中区）は、ひらおかを含む飲食、美容、雑貨などの38店に提供中。島上勝則会長（49）は「改良を重ね、地元店ならではのサービスにつなげたい」と話す。

の服の
お人ら
か婦ひ